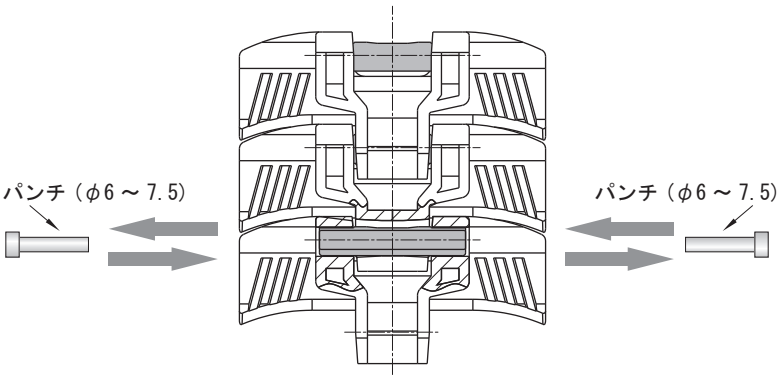
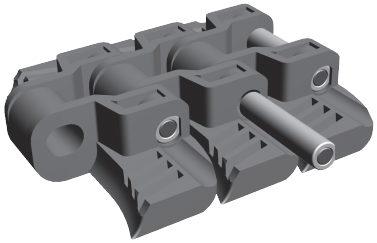
■ プラトップチェーン　TTUPM838H形の取扱い

分解・連結時

継手ピン（エンプラ製ピン）がDピンタイプのため、左右どちらからでも抜差しできます。
なお、外径φ6 ～ 7.5 のパンチをご使用ください。
又、挿入不足、挿入すぎにご注意ください。





※外径φ6 以下、φ7.5 以上のパンチを使用するとチェーン及びピンが損傷します。

安全にご使用いただくために

⚠ 警　告

危険防止のため、下記の事項に従ってください。

- ●チェーンおよびアクセサリ(周辺機器・パーツ)は、本来の用途以外には使用しないでください。
- ●チェーンへの追加工は絶対行わないでください。
  - ・チェーンを酸やアルカリで洗浄しないでください。割れが生じます。
- ●損耗（破損）した箇所の取替えは、損耗（破損）部分のみの取替えではなく、すべてを新品に取替えてください。
- ●チェーン及びスプロケットには、必ず危険防止具（安全カバーなど）を取付けてください。
- ●労働安全衛生規則第二編第一章第一節一般基準を遵守してください。
- ●チェーンの取付け、取外し、保守点検、給油などの際には、
  - ・取扱説明書もしくはカタログにしたがって作業してください。
  - ・事前に必ず装置の電源スイッチを切り、また不慮にスイッチが入らないようにしてください。
  - ・作業に適した服装、適切な保護具（安全眼鏡、手袋、安全靴など）を着用してください。
  - ・チェーンの取替えは、作業に熟練した方が行ってください。

⚠ 注　意

事故防止のため、下記の事項を守ってください。

- ●チェーンおよび各パーツの構造、仕様を理解したうえで取扱ってください。
- ●チェーンおよび各パーツを据付ける際には、事前に輸送時の破損がないか検査してください。
- ●チェーン、スプロケットおよび各パーツは必ず定期的に保守点検をしてください。
- ●チェーンの強度はメーカによって異なります。当社カタログによって選定された場合には、必ず当社製品をご使用ください。
- ●チェーンは緩起動、緩停止を行い、衝撃を与えないでください。
- ●チェーンには初期張力を与えないでください。
- ●エンプラ製ピンを使用したチェーンは、切継ぎの際、一度抜いたピンを再使用しますと嵌合力が低下しピン抜けトラブルの原因になります。プラピンチェーンの切継要領に従ってください。
- ●エンプラ製ピンを使用したチェーンは、ウェットな条件では60℃を越える温度で使用しないでください。
- ●プラスチック製チェーンの近くでは火気を使用しないでください。(溶接・溶断・グラインダー作業等)